

文部科学大臣杯 第21回小中学校将棋団体戦 神奈川県大会 開催要項

《小学校大会》

今年度は日本将棋連盟神奈川県支部連合会が主に運営します。

- 日時 令和7年6月29日(日)
- 場所 横浜市青少年育成センター(関内ホール B2F)
045-664-6251 (JR「関内」駅北口 歩7分) (市営地下鉄線「関内」出口⑨歩5分)
- 大会の具体的な内容や申込方法は下記のサイトをご覧ください。(Ctrlキーとクリックでリンク先へ)
[【公式】日本将棋連盟神奈川県支部連合会/将棋の大会・イベント・将棋教室/神奈川県](#)

《中学校大会》

※今年度からは選抜戦のみとなり、交流戦は行いません。(今回の定員は64チームとする)

特に下記11の(2)の部分が今までと全く異なります。不明な部分は申込み先アドレスにご質問ください。

※当日、午前6時の時点で以下の5種類が1つでも横浜市に発表継続中の場合、大会を延期する。

ア. 暴風警報、イ. 大雪警報、ウ. 暴風雪警報、エ. 特別警報(大雨、暴風、高潮、波浪、暴風雪、大雪)、オ. 降灰予報

※上記の場合や緊急の対策等が必要になった場合は、逐次ホームページに掲載します。その場合の対応についてはご協力をお願いします。

- 日時・会場 令和7年(2025年)6月22日(日)
横浜市技能文化会館(2階 多目的ホール)
045-681-6551 (JR「関内」駅南口 歩5分)
(横浜市営地下鉄「伊勢佐木長者町」出口② 歩3分)
- 内容 **団体戦** ; 1チーム3名による中学校対抗団体戦。(2名・4名のチーム編成は不可・文部科学大臣杯参加規程による)。
上位チームは、文部科学大臣杯 第21回 小中学校将棋団体戦 東日本大会に出場する権利を得る。(昨年は小学校3チーム、中学校5チーム)
- 出場規定
 - 神奈川県内の中学校に所属する生徒であり、学校毎にチームを組むこと。
 - 1チームは3名(限定)とし、各学校のチーム数の上限は設けない。(ただし、出場チーム多数の場合、制限すること有り)
同じ学校であるのなら、部活動・クラブ活動以外のグループでも出場できる。
 - 複数出場の場合は3名ずつでチームを構成する。チームは棋力に関係なく編成してよい。チーム名は所属する学校名と学校名の後に、参加優先チーム順にA・B・C・・・と付記する。登録されたメンバー・オーダーは変更できない。
 - 出場校は、必ず学校に担当教職員1名以上を置く。また、当日は1名以上の引率者(保護者可)がつかなければならない。
 - 参加選手は各自一組の将棋盤と駒を持参する。対局時計も可能ならば持参する。
- 参加費 1チーム 1500円 (当日納入)
- 申込方法 インターネットで「神奈川県小中学校将棋連盟」ホームページから申し込む。
※必ず今年度の申込書・アドレスをご利用ください。

※申込先アドレスは、ysmk2001@f02.itscom.net です。

6 申し込み期間 中学校は 令和7年5月16日(金)～5月23日(金)18:00 必着
提出期限に間に合うように早めの提出をお願いします。

7 主催 日本将棋連盟 神奈川県支部連合会
共催 神奈川県小中学校将棋連盟
協賛 公益財団法人 よこはまユース

8 審判長・役員 審判長 未定 運営委員長 関田 隆 他

9 大会時程

9:20 ～ 9:30	受付 選手はトイレ等を済ませ着席待機
9:40 ～	開会式・諸注意
10:00 ～ 11:55	4チームのリーグ戦 各リーグ1位のみ予選通過。2～4位は終了 昼食(リーグ戦敗退チームも会場内にて昼食可)
12:30～	16チームによるトーナメント。ベスト8で敗者復活戦あり
15:30 ごろ	トーナメント終了後、勝ち残ったチームで閉会式

10 表彰 代表チームに賞状。

11 運営

(1) 参加チーム決定

定員を64チームとし、超えた場合は以下の手順で決定する。(文書末の図表を参照)

- ① 各校の第1順位のチーム(Aチーム)を入れていく。
- ② 参加枠に余裕がある場合、次に各校の第2順位のチーム(Bチーム)を入れていく。これを繰り返す。(C、D、…)
- ③ ある順位のところで全校のチームが入りきれない場合は、次の優先順位で決定する。
優先順位1 参加チームが多い学校のチーム。
優先順位2 学年点の高いチーム。
- ④ ③の方法で決まらない場合は、役員会で抽選により決定する。
- ⑤ 参加チーム数が64に満たない場合は、別途試合形式を考える。

(2) チーム編成と申し込み

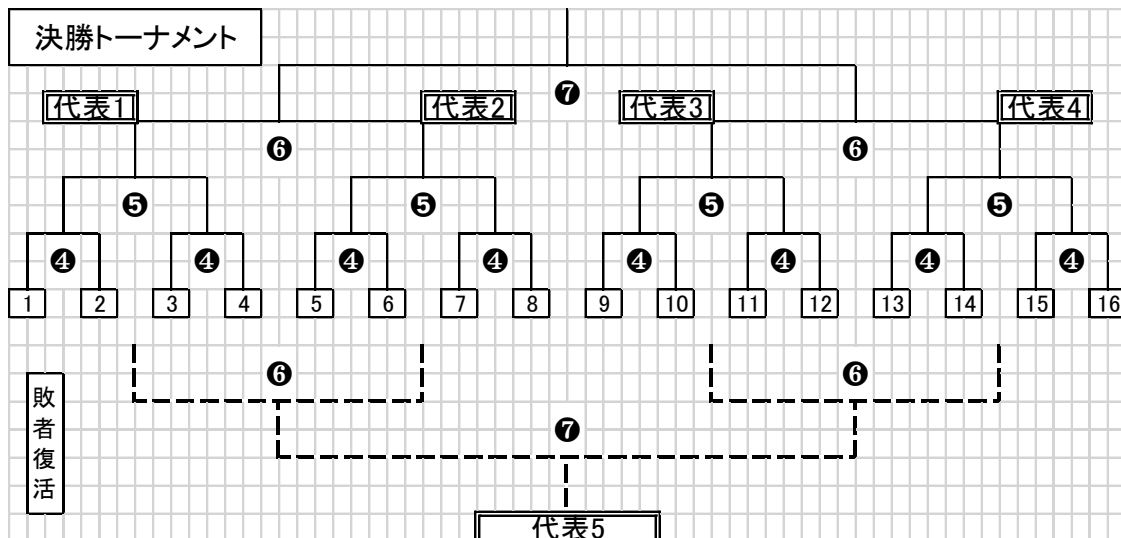
- ① 1チーム3名とし、**棋力に関係なく編成してよい。**ただし、申し込み後は変更できない。
- ② チーム内の**オーダーも棋力に関係なく決めてよい。**ただし、申し込み後は変更できない。
- ③ 申込書に**段級点は記入せず、学年点のみ記入する。**
- ④ 複数チームを申し込む場合は、**参加優先チーム順にチーム名をA,B,・・・とする。**

※定員が少ない関係で出場できなくなるチームが予想されるため

(3) 代表チーム選考方法

(ア) 試合形式

- ① 定員を64チームとし、4チームずつの16リーグを編成する。
- ② 午前にリーグ戦(3試合)を行い、各リーグ1位が決勝トーナメントに進出する。
- ③ 午後に決勝トーナメント(下図)を行い、ベスト4を代表とする。
- ④ ベスト8で敗退した4チームで敗者復活戦を行い、勝ち上がったチームが代表。



(イ) 予選リーグの編成方法

①64 チームを名前順に並べて 1~16 の番号を繰り返し付けていき、1 番の付いた 4 チームを A リーグ、2 番を B リーグ、以下 C、…P リーグとして、16 リーグを編成する。

※前年度の文科杯選抜戦でベスト 8 になった学校の A チームは、同一リーグに入らないように調整する。

(ウ) 決勝トーナメントの編成方法

- ①予選リーグ 1 位になった時点で、トーナメントの抽選順位を決めるくじを引く。
- ②同一校がベスト 16 に入った時はその学校のチーム（複数）が最初にトーナメントの抽選を行う。その場合、一方は左の山、他方は右の山のカードを引くこととする。
- ③同一校が 2 つ以上ある場合は、抽選順位が早い番号をもつ学校が最初に引く。
- ④残りのチームが抽選順位順にカードを引き、トーナメント表を完成する。

以上のように決定された代表チームが

文部科学大臣杯 第 21 回小中学校将棋団体戦 東日本大会に出場する権利を得る。

(4) チームの勝敗決定方法

- ① 勝者の数が多い方を勝ちとする (3 勝 0 敗、2 勝 1 敗の場合。まれに 1 勝 0 敗など)。
- ② 勝者数が同数の場合 (欠席や千日手などで 1 勝 1 敗や 1 勝 1 敗 1 引き分けなど) では 1 番手 (主将) が勝者のチームを勝ちとする。1 番手が引き分けの場合は 2 番手が勝者のチームを勝ちとする。
- ③ これによっても決まらない場合、リーグ戦では引き分けとする。引き分けの場合は 0.5 勝とする。トーナメント (引き分けが不可の場合) では抽選で勝者を決定する。

(5) リーグ戦などの順位決定方法

- ① チームの勝ち数の多い方を上位とする。(チームの引き分けを 0.5 勝として加える)
- ② チームの勝ち数が同数の場合は、個人の勝ち数の合計が多い方を上位とする。
(個人の引き分けを 0.5 勝として加える)

これによっても決まらない場合は、以下の方法で順位を決める。

- ③ 1 番手の勝ち数
- ④ 2 番手の勝ち数
- ⑤ 直接対決の結果
- ⑥ 抽選

(6) 持ち時間

リーグ戦、トーナメント共に1人5分。使い切ったら1手30秒未満の秒読みとする。

(進行上、時間を変更する場合有り)。

(7) 対局とルール

- ① 対局は総平手とする。
- ② オーダーは申込書に書いてある順とする。変更は不可とする。ただし欠席の場合は上に詰める。
- ③ 両チームの対戦の先後は主将(1番手)の振り駒による。2番手以降は先後を交互にする。
- ④ 相手のチームが遅れた場合、審判員立会いの下、1番手が振り駒をし、相手方のチェスクロックを作動させる。開始後時間が切れた場合、失格とする。引率者が遅れた場合、引率者が到着するまで試合に参加することはできない。
- ⑤ チェスクロックは、後手番の好きな方に置き、必ず指した手で押す。
- ⑥ 持ち駒は盤の右側に置く。対局時計でかくれることが無いように互いの持ち駒が見える位置に置く。駒箱を駒台として使わない。
- ⑦ 同一局面が4回生じた場合千日手とする。千日手の場合は引き分けとする。
- ⑧ 相入玉になった場合、持将棋の判定をする。
 - ・まず双方の玉以外の駒を点数化し合計する(小駒(飛・角以外)を1点、大駒(飛・角)を5点とする)。
 - ・その合計点が多い方を勝ちとする。同点の場合は後手の勝ちとする。
- ⑨ ⑧を含め、ある対局が試合終了まで大幅に時間がかかると予想される場合は審判が裁定する。(例)勝敗の判定、数手後に判定すると予告して対局継続、秒読み時間を減らし20秒未満とするなど
- ⑩ どちらかの投了で勝敗を決定する。投了は「負けました」とはっきりと相手に分かる言葉と態度で意思表示をする。
- ⑪ 次の行為は反則負けとする
 - ・二歩 ・打歩詰め ・王手放置 ・二手指し(手が離れれば指したことになる) ・成れない駒がなる
 - ・駒が動けない所に動く ・動けない駒を打つ(歩・香の一段目など) ・連続王手の千日手対局相手の反則を発見した場合は次のようにする。
 - ・対局時計の「中断」を押して時計を止める。
 - ・対局相手の反則を指摘する。相手が認めれば相手の投了で終了となる。
 - ・対局相手が反則を認めない場合、手を挙げて審判の判断を求める。ただし、**投了後の反則の指摘は無効とする(投了優先という)。**
- ⑫ 他者の助言を禁止する。また、対局者が助言を求める行為も禁止する。対局者以外の者の指摘、例えば、「時計の押し忘れの指摘」や「二歩等の指摘」、「目による合図」「うなずき」等も助言に当たる。なお、助言が生じた場合は、助言者との関係がより強い選手の方を負けとする。
- ⑬ 対局中、何か問題が起こった場合(駒が落ちて行方不明になった。急な腹痛など)は、対局者は審判の判断を求める。この場合も必ず時計の「中断」を押した後、手を挙げること。
- ⑭ その他、運営上生じる問題は、日本将棋連盟の規約に準じ運営部が裁定する。指示に従うこと。

(8) その他

- ① 大会への参加やチーム編成などご質問やご相談がありましたら、当連盟にご連絡ください。
- ② 遅刻・欠場者が生じた場合、必ず当日の受付と会場内の参加リーグ本部で申し出る。
- ③ 出場申し込みが受理された時点で、参加が決定される。以後、辞退が生じた場合でも、参加費の納入は義務付けられる。
- ④ 当連盟及び新聞社が記録のため撮影することがあります。不都合な場合はご連絡ください。
- ⑤ 緊急の対策等が必要になった場合に備え、申込書に必ず緊急連絡先(携帯電話)を記入してください。

「参加チーム決定方法」(出場チームを制限する場合)

例: 申し込み10校48チームから、40チームが出場すると仮定した場合。

はぶ中学校	いなば中学校	ひろせ中学校	さとう中学校	くぼ中学校	とよしま中学校	ふかうら中学校	みうら中学校	いとだに中学校	あくつ中学校
A 1	A 2	A 3	A 4	A 5	A 6	A 7	A 8	A 9	A 10
B 11	B 12		B 13	B 14	B 15	B 16	B 17		B 18
C 19			C 20	C 21	C 22	C 23	C 24		C 25
D 26			D 27	D 28	D 29	D 30			D 31
E 32			E 33	E 34	E 35	E 36			E 37
F(学年点8)			F(学年点8) 40	F 38	F				F(学年点9) 39
G			G	G					G
			H	H					
			I	I					

手順①+②

A→B→C→D→Eまでは参加チーム数に余裕があるので、「あくつ中学校Eチーム」までの37チームは、最初に参加確定。

手順③ 優先順位1…参加チーム数が最も多い「くぼ中学校」を優先。「くぼ中学校Fチーム」は参加確定。

優先順位2…「はぶ中学校」・「さとう中学校」・「あくつ中学校」は申請チーム数が同じ。
よって、学年点の高い「あくつ中学校Fチーム」は参加確定。

手順④ 「はぶ中学校Fチーム」・「さとう中学校Fチーム」は、学年点も同じ。このため、役員会による抽選によって決定。